

第3回9月難関大本番レベル記述模試地理B 採点基準

1 単答記述問題

- ① 誤字，脱字，漢字間違いは0点。
- ② 漢字で書くべき用語（例：扇状地）をひらがなで書いてある場合は0点。
- ③ 日本の地名（例：茨城県）については漢字で正確に書かれていなければ0点。
- ④ 中国・韓国の地名（例：ペキン（北京））については，漢字・カタカナのいずれかで正しく書かれていれば正解とする。
- ⑤ その他の地名や地理用語について，スロヴェニア⇔スロベニア，パキスタン⇔パーキスタンといったカタカナ表記の通念の範囲内での異体に関しては正解と認める。

2 論述問題

以下の設問別加点基準で加点（その他各問題の主旨に適した解答には，適宜加点。ただし，満点は越えない。）



以下の共通減点要素で減点

共通減点要素

- ① 加点要素に関わる誤字脱字および漢字の間違いは1点減点。
- ② 字数オーバーは0点
- ③ 明らかに文章の構成が誤っている場合，論理が合わない場合などは1点減点。
- ④ 指定語句に下線をつける問題で，下線が引き忘れてある場合は1点減点。

（*減点しなくていい要素，その他の注意）

- ① 加点要素以外で誤った記述があった場合，その部分は0点だが，減点はしない。
- ② 文章が未完のものは減点しない。
- ③ 以下の基準における加点項目は，内容的に整合性が取れていればよく，字句の順序や表現は必ずしも完全に一致していなくてもよい。

3 採点記号

| | | |
|---|--------|-----------|
| 1 | <□□□□> | 加点ポイント |
| 2 | □□□□x | 事実に誤認あり |
| 3 | □□□□? | 文意不明 |
| 4 | □□✓□□ | 誤字あり／脱字あり |

4 設問別加点要素

- 1) _____部分は必須キーワードであり、この表現がなければ加点しない。その他は同義であれば加点する。
- 2) ○○/△△ は「○○でも△△でも可」を意味する。

1

問1 縮尺 2点

2万5000分の1

※「25000分の1」「1/25000」「1:25000」などでも可。

問1 根拠 4点

主曲線が10mごとに引かれているから。

【加点ポイント】

★問1 縮尺 を正解していることが加点の前提。

- ① 主曲線が10mごとである/計曲線が50mごとである/150mの計曲線がある →4点
「主曲線⇔計曲線」「等高線が10mごと/50mごと」では加点なし。

問8 4点

海岸の侵食を防止するため。

【加点ポイント】

- ① 海岸の侵食を防止する/砂浜の減少を防ぐ/砂浜を守る →4点
(「波を弱める」のみ → 1点)

2

問5 5点

バブル崩壊後の不況で内需が低迷する一方、貿易摩擦対策で始まったBでの現地生産が円高の進行で拡大したうえ、成長するアジア諸国への生産移転も進んで輸出が減少した。(79字)

【加点ポイント】

- ① (A国内の事情として) バブルの崩壊/不況/内需減少 →1点
- ② (1980年代に) Bとの貿易摩擦の発生 →1点
- ③ (1985年のプラザ合意以降の) 円高 →1点
- ④ (②③により) Bでの現地生産/Bへの工場移転 が拡大 →1点
- ⑤ アジア諸国への工場移転も進んだ →1点

3

問2 (2) 3点

薪炭材や堆肥の供給源としての役割を果たす。

【加点ポイント】

- ① 薪炭材/薪/燃料 とする →2点
- ② 堆肥/肥料/腐葉土/畑の養分 とする →1点

問6 (1) 2点

C. B. D.

※ピリオド(.)の有無は問わない

問6 (3) 4点

安価な土地を求めて無秩序かつ虫食い状に市街地が郊外へ広がり、農地・宅地・工場が混在する現象をいう。

(49字)

【加点ポイント】

- ① 市街地が 郊外/都市周辺部 に広がる →2点
- ② (①の状態として) 無秩序/虫食い状/農地・宅地・工場が混在 →2点

4

問3 5点

貿易で経済的に強く結びつく相手がイギリスからアジアに変化し、白豪主義が有色人種の移民を受け入れる多文化主義へと改まった。(60字)

【加点ポイント】

- ① 貿易相手が(イギリスから)アジア諸国/日本やアメリカ合衆国へと変化した →2点
「アジアとの関係を深めた」のみ →1点
- ② 白豪主義を撤廃した/有色人種(アジアの人々)の移民を受け入れようになった →2点
- ③ 多文化主義を採用した →1点

問7 ⑤ ワイラケイ地熱発電所 2点

※ 「ワイラケイ発電所」→2点。「ワイラケイ」のみ →1点加点